

令和2年度 木屋平地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p>(買い物) (健康・栄養) 新たな買い物サービスとの意見交換会</p> 	<p>日時 令和2年6月19日(金) 場所 川井集会所 参加者 木屋平地区民生委員・児童委員、実行委員 内容 サービス内容の確認(買えるもの、方法、曜日など) 見守り活動の依頼</p>	<p>買い物資源の少ない木屋平地区で、新たに買い物サービスを予定している企業(マルナカ)との意見交換により、買い物方法の確認ができた。また、民生委員児童委員と連携した見守り機能を担ってもらえることにもつながった。</p> <p>引き続き、買い物資源に限らず、地域にある資源の情報を収集し、地域住民に発信していきたい。また、不足している資源についての確認にも取り組みたい。</p>
<p>(生きがい) <つながり> <集落維持> 他団体との意見交換会 花植え・蕎麦栽培 (木屋平 幼・小・中学校)</p>   	<p>日時 令和2年7月21日(火) ~ 場所 令和食堂 参加者 実行委員 6名、幼・小・中学校生徒・教員、地域住民 内容 住民の「生きがい」や「つながり」づくりに向けて、学校の教職員、生徒、地域住民に協力してもらいプランターの花植え・蕎麦の栽培</p>	<p>学校との繋がりを大事にしたいという事から、学校側に依頼し、意見交換会を行った。学校の行事内容や実行委員会の活動をお互いに共有する良い機会となり、7月には学校行事に合わせてプランターの花植え、蕎麦の栽培を学校の生徒と行うことができた。</p> <p>意見交換会を通じて、学校と地域住民との距離がさらに近くなる良い機会となり、校長からも「継続して地域の方には、学校行事に参加して頂きたい」との意見を頂いた。引き続き連携を取りながら交流を深めていきたい。</p> <p>(学校との意見交換会) (プランターの花植え) (蕎麦干し・縄作り)</p>
<p>(健康) (生きがい) 住民主体の健康づくりの場</p> <p>木屋平 コンディショニング</p> 	<p>日時 令和2年8月25日(火) ~月1回 場所 谷口公民館 参加者 実行委員 8名 ※地域住民 内容 九つのプログラムでストレッチ・健康体操</p> 	<p>数年前から実行委員会で協議し、計画していた「気軽に集まり体操が出来る場所づくり」が今年、美馬市地域おこし協力隊の協力のもと、実現する事が出来た。新型コロナ禍で、外出頻度が減っている中、定期的な外出の場がひとつでも増え、健康体操を実施できたことはフレイル予防においても大きな進歩と言える。</p>   <p>この企画が地域に馴染むまでは、実行委員会と同日開催し、実行委員会主体のもと行っていたが、来年度からは、木屋平の健康づくり推進協議会が主体となり、地域内3カ所でコンディショニングプログラムはもとより、食生活の講義など、健康で地域での生活が継続できるように支援を行っていく。</p>
<p>(介護) 地域介護力向上講座</p> 	<p>日時 令和2年12月1日(火) 場所 谷口公民館 参加者 30名(内つながりネット9名、サロン17名、実行委員4名) 内容 (講義)私の居場所!木屋平で暮らし続けられるように 自宅で長く暮らすための知恵 (講師) 健祥会学園 介護福祉学科長 河野和代氏</p>  <p>(ソックスエイドの作成・体験)</p>	<p>昨年、好評だった地域介護力向上講座を今年も継続して開催した。つながりネット、サロンリーダーに声をかけを行い、26名の参加があった。「自宅で長く暮らせるように」をテーマとした講義の受講と、ソックスエイド(靴下を履くのに便利な道具)を参加者全員で作成した。参加者からは「大変わかりやすい講義だった」「聞くだけでなく実技もあって勉強になった」と意見を頂いた。</p> <p>今年は、初めて参加される方が、7割以上見受けられた。今後、地域住民にアンケートなどを取り、地域で介護力を高めていくには、どのようなことを学び、実践していきたいかを知り、それを講座に取り入れ自助力を上げていきたい。</p>
<p>(生きがい) (環境整備) <つながり> 竹ぼうきづくり体験</p> 	<p>日時 令和3年2月17日(水) 場所 谷口公民館 講師 近藤 福義 氏</p>  <p>参加者 実行委員、教職員、園児・児童、地域住民 内容 昔ながらの竹ぼうきづくり体験を通じて地域との交流</p>	<p>竹ぼうき作りに興味のある地域の方や教員、児童と交流しながら作成した。出来上がった「竹ぼうき」は、学校や地域行事に活用してもらおう。作成後には参加者全員に「木屋平実行委員会バッチ」の配布も行った。</p>   <p>地域の昔ながらの技術を若い世代の方や学校の生徒に体験して貰える良い機会となった。今後更に興味を持って貰えるような交流できる機会を増やしていきたい。</p>